

| |
|--|
| 2016年度 リー・カムシン 氏 ピアノ特別講義② |
|--|

1. 日 時 : 2016年10月25日(火)11時00分～18時00分
2. 場 所 : F号館112教室
3. 対象学生【必修】 : 公開レッスン受講生 学内のみ他聴講可
4. 講師紹介 : リー・カムシン Lee Kum-Sing

30年以上に渡り、リー・カムシンは北米、ヨーロッパ、アジア及びオーストラリアでピアニストとして、またデュオや室内楽演奏者として高い評価を得てきた。

ピアノ芸術の"グランド・マナー"、"鍵盤の詩人"、またバルトークの演奏解釈には"真のハンガリー人のディクションとテンペラメント"との賛辞が贈られた。

リー・カムシンは、ベルリンでゲルハルト・ブシェルトに、パリでジュリアス・カッチェン及びマグダ・タリアフェロに学ぶ。ソロ活動、オーケストラ共演のキャリアは、1953年シンガポールを皮切りに、NYカーネギーホールへのデビュー(1963年)、ロンドン・ウィグモアホールへのデビュー(1969年)と続く。チョーリヤン・リンやアルフレード・カンポーリ、リヴカ・ゴラーニ、キム・ボルグといったアーティストたちと共演。リーの演奏は、BBC、CBC、アジア、オーストラリアやヨーロッパのラジオやテレビで放映された。

1971年よりバンクーバー音楽院ピアノ科主任教授を務めるとともに、ブリティッシュ・コロニアの教授も務めた。1985年より北京音楽院など中国各地、またインド大学、バンフ芸術センター、オーベルリン音楽院、テキサス大学へ招かれた。

教育者として国際的に高く評価されており数々のマスタークラスを持っている。ポーランドのドゥシェニキ音楽祭、フランス・ノーアンのショパン音楽祭、モーニングサイド・ミュージック・ブリッジ、カナダのトロントサマーフェスティバル、オルフォード音楽祭に招かれるなど、オランダ、ポーランド、フランス、ベルギー、イタリア、日本、中国、アメリカやカナダで国際夏期セミナーやフェスティバルなどに招かれている。

国際ピアノコンクールの審査員としても活躍、カナダ人としては初めてショパン国際コンクール(ワルシャワ、1995年)に招かれる他、エリザベト王妃国際コンクール(ブリュッセル)他、ラフマニノフ(モスクワ)、中国国際(北京)、モントリオール(カナダ)、エスター・ホーネンス(カルガリー)、ジーナ・バックアウアー(ソルトレイク)、バデレフスキ(ポーランド)、ダブリン(アイルランド)、カサグランデ(イタリア)など数々の主要コンクールに招かれている。

2010-2011シーズンは、ヒューストンでショパン生誕200年記念レクチャー&マスタークラスに招かれたほか、韓国や日本、中国、またポーランドへツアーをおこなった。

5. 講義概要 :

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 11:00～ 水谷 友彦 (院1) F.Liszt Grand Etudes de Paganini S.141 3. La campanella gis moll 6. Theme and Variations a moll 2. 13:00～ 千葉 いづみ (院2) W.A.Mozart Fantasie c-moll K.475 3. 14:00～ 櫻井 奈月 (院2) L.v.Beethoven Klaviersonate Nr.30 E-Dur op.109 4. 15:30～ 井上 千尋 (院1) S.Rachmaninoff Piano concerto No.2 in C minor op.18 5. 16:30～ 佐々木 美穂 (院1) J.Brahms 2 Rhapsodien Op.79-1 h moll |
|--|